

2減の24人

議員発議で定数減 特別委の調査結果を可決

これまでの議会のあり方について、総合的に調査・研究を行うため、議長を除く議員25人（その後2人欠員）で構成する「栗原市議会のあり方調査特別委員会」（以下、特別委員会）を平成29年9月定例議会において設置しました。
特別委員会は3分科会で構成し、議員定数のあり方は「議員定数・ICT化等分科会」で7回に及ぶ調査を実施しましたが結論に至らず、特別委員会での採決の結果、「2人減」を賛成多数で決定しました。
12月定例議会では、議員定数「2人減」とする条例を議員発議し、賛成多数で原案どおり可決しました。
施行は次回の選挙からとなります。

議員定数の 移り変わりの

栗原市は平成17年4月1日、10町村が合併して誕生しました。合併直後の議員定数は「合併特例法」により旧町村ごとに市議会議員の選挙を実施し、45人でスタートしました。

4年の任期を終えた平成21年4月の選挙から、栗原市域が1つの選挙区となり議会議員の定数は30人になりました。

平成21年9月の定例議会において、議会改革と議会活動の活性化を図ることを目的に「議会改革調査特別委員会」を設置し、議員定数の調査・研究を行った結果、平成24年2月の定例議会で「人口減少と今後の厳しい財政状況」を考え、議員定数を「30人」から4人減の「26人」に決めました。
平成29年4月は、26人のままで選挙が実施され、現在に至っています。
(下の表参照)

年月	項目	議員定数(人)	市の人口(人)
平成17年4月		45	82,588
平成21年4月		30	78,250
平成25年4月		26	74,414
平成29年4月		26	70,000
令和 3年4月		24	※ 64,270

※令和2年4月1日の推計です。

議員の採決表(発議第6号 栗原市議会議員定数条例の一部を改正する条例について)

議員氏名 議案番号	議決結果	採 決 結 果																								
		佐藤 庄喜	小野 久一	澤邊 幸浩	佐藤 千昭	佐藤 範男	鹿野 芳幸	高橋 勝男	高橋 義雄	五十嵐 勇	石川 正運	高橋 涉	三塚 東	沼倉 猛	高橋 将	佐藤 悟	三浦 善浩	菅原 勇喜	佐藤 文男	相馬 勝義	濁沼 一孝	佐藤 勇	佐々木嘉郎	阿部 貞光	佐藤 久義	
発議第6号	可決	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	反	賛	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-

※ 「賛」⇒賛成した議員、「反」⇒反対した議員、「欠」⇒欠席、「-」⇒議長のため表決に加わらない



議場には緊張感が漂う

ピックアップ 議員

分科会

議員定数の結論でず

特別委員会の議員定数を調査した分科会での中間報告は次のとおりです。（主要な旨）

①現状維持とする理由

議会には、政策立案や監視機能を効果的に発揮することが求められ、広い面積の栗原市では地域の様々な意見の代弁者が必要とされている。議員の定数を減らせば、小さい地域からの代表が出にくくなるので、議員定数は安易に削減すべきではない。

②削減する理由

市域の面積の違いなど単

純に比較できない点はあるが、人口が6万人から7万人の人口規模が似ている県内の市と比較すると、本市の議員定数は2人から8人多い状況になっている。

「4人削減」の理由

現在の3常任委員会の体制を維持し運営していくためには、1常任委員会あたり最低7人が必要であり、議長を加え22人とする。

「2人削減」の理由

これまでの議会機能を維持し、低下をさせないためには、慎重かつ段階的な削減が必要である。

特別委

議員定数「2人減」を決定

議員全員（議長を除く）で構成する特別委員会では議員の定数を「現状維持」「2人減」、「3人減」とする意見があり、採決した結果、「2人減」を賛

成多数で決定しました。

12月定例議会において、議員定数「2人減」の条例が議員発議により提案され賛成17、反対6の賛成多数で可決しました。

本会議

議員定数を2人削減する議案に対して、賛成・反対の意見がありました。採決の結果は2ページのとおりです。

討

論

反対

佐藤 悟 議員

旧10町村が合併し、面積は805平方キロと県内最大、人口は6万7829人、高齢化率37・8%である。福祉の充実、地域活性化は喫緊の課題で議会からの提言が待たれる。定数削減は多様な市民の声を代表する議会の批判・監視機能の低下につながり反対である。

反対

佐藤 文男 議員

各地域、各世代からの声を代弁する議員、さらには現在1人もいない女性議員の誕生が求められている時議員になる敷居を自ら高くする必要はない。議会は住民の声を自治体に反映する住民の代表機関だ。定数削減は結果として自治体を住民から遠ざけてしまう。

賛成

阿部 貞光 議員

議会は議案の審議・審査をすることが最大の仕事である。行財政が厳しくなっていく中、議会にはこれから志を持つてくる議員を育てる役割がある。定数削減により市議会が低迷したと言われぬよう、資質の向上を図り、これまで以上に市民から認められるような活動をしていくべきである。